

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 大府商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考						
				目標①			目標②			得られた効果			ABCD評価				今後の展開・改善点等					
巡回・窓口相談指導事業	地域内事業者の大多数を占め、本市商工業の基盤をなす小規模事業者及び中小企業者の経営基盤の安定強化に努める。また、課題解決提案・経営革新への積極的な支援を実施する。特に巡回指導は4人の経営指導員により、多忙な小規模事業者にとっては訪問することでの時間的短縮が図られる上、出向いて聞くまでもない様な些細な相談を受けることができる。	巡回指導 実企業数 309件 （うち非会員12件） 延べ件数 539件 （うち非会員21件） 窓口相談指導 実企業数 621件 （うち非会員27件） 延べ件数 1,408件 （うち非会員51件） 課題解決提案件数 30件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 108.2%)			指標	課題解決提案件数 (達成度 75.0%)			小規模事業者に対し、補助金申請のノウハウなどを効果的に行うことができた。(小規模事業者持続化補助金の申請件数21件、うち結果が出ている15件の採択件数は12件、採択80%)	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	小規模事業者は様々な角度から支援が必要であることを考慮し、重点的に支援を行う。今後も現行どおり計画目標を定めて継続実施する。
					A	A																
					目標達成度	必要性																
B	A	現行どおり	現行どおり																			
記帳継続指導	正しい経理と記帳慣行を身につけてもらうことにより、経理管理や納税の適正化を促す。	前期源泉指導、年末調整、決算、確定申告、消費税申告、記帳指導 指導対象企業数 91事業所 指導延回数 1,209回 指導延日数 507日	小規模事業者	指標	指導対象企業数 (達成度 101.1%)			指標	課題解決提案件数 (達成度 %)			小規模事業者の記帳意識の向上を図り、適正な税務申告指導を行うことにより、経営改善がなされた。また、令和5年10月から始まるインボイス登録制度の周知や説明申請の手続きなどもできた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	窓口やHPにて記帳機械化事業をPRし、指導対象企業数の維持に努める。会計ソフトの進化に伴い、事業者に合った提案型指導を心掛ける。
					A	A																
					目標達成度	必要性																
B	A	現行どおり	現行どおり																			
講習会等	地域内事業者の大多数を占め、本市商工業の基盤をなす小規模事業者及び中小企業者の経営基盤の安定強化に努める。具体的には月1回の定例税務相談を始め年末調整、確定申告の勉強会及び集合受付、経営に関する講習会を開催する。	集団指導 5回 延べ38件 個別指導 43回 延べ189件	小規模事業者	指標	集団指導参加者数 (達成度 31.7%)			指標	個別指導参加者数 (達成度 71.3%)			定例の集団及び個別講習会を開催することにより、小規模事業者が税務、金融、労務について正しい知識を身につけることができた。	総合評価	B	事業実施評価の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	定例の講習会は広く認知されている。定例以外でも時代のニーズにあった有益性の高い講習会を企画する。次年度も新型コロナウイルス感染症に配慮しつつ、効率的な運営に努める。
					B	A																
					目標達成度	必要性																
C	A	現行どおり	現行どおり																			
若手後継者等育成事業	小規模事業者・中小企業者は大企業とは異なり、自己変革に繋がる機会が少ない。この状況を変えるため若手小規模事業者等の自己研鑽、人格教養、経営能力の向上に資する機会を設けて、企業の発展と地域社会の繁栄に貢献する。併せて、会員相互の連携と親睦を図る。	地域振興事業、研修会等 事業開催回数 青年部 3回 延べ参加者数 75名 青年部会員数 78名 女性会会員数 47名	小規模事業者等における若手経営者（後継者等）及び女性経営者等	指標	青年部会員数 (達成度 82.1%)			指標	女性会会員数 (達成度 92.2%)			各種事業を企画・運営することにより、会員の資質向上を図ることができた。又、コロナ禍の中、地域を元気づける事業の実施により、大府市の活性化が図られただけでなく、青年部、女性会という団体を市民に向けてPRできた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	青年部は、経営者等会員の資質向上に努める。女性会は、高齢化が進んでいる事から、引き続き若手会員の増強を図り、今後の事業運営の安定に努める。
					A	A																
					目標達成度	必要性																
B	A	現行どおり	現行どおり																			
若手後継者等育成事業「全国会長研修会」【青年部】	新型コロナウイルス感染症の収束を前提に、全国に415単位ある青年部のスケールメリットを活かすことができる事業「全国会長研修会」に参加する。「時代を先駆ける青年の責務」という青年部の指針を遂行しつつアフターコロナに対応した事業ができるようにするため、全国の会長連と意見を交わし、自社・地域の発展に寄与する。	開催日：令和4年11月11日（金）～12日（土） 場所：枚方市総合文化芸術センター 参加人数：2名 参加者：R4年度会長 橋本亮 R5年度会長予定者 近藤匡則 満足度 100%	小規模事業者等における若手経営者（後継者等）及び女性経営者等	指標	参加者数 (達成度 100.0%)			指標	満足度 (達成度 125.0%)			本年度会長、次年度会長予定者共に同期会長、会長予定者と繋がりがあり、青年部自体や役職者としてのあり方を学ぶことができた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	今後も引き続き、会長、次年度会長の2名で参加を続ける。
					A	A																
					目標達成度	必要性																
A	A	現行どおり	現行どおり																			

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 大府商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考						
				目標①			目標②			得られた効果			ABCD評価								
若手後継者等育成事業 「大府商工会議所青年部 創立20周年記念事業の開催」 【青年部】	大府商工会議所青年部は令和4年に創立20周年を迎えるにあたり、これをPRするため、市民を対象とした記念イベントや記念式典を開催。 また、5年度以降も地域に根付き愛される団体であるために、地域の持続的発展に寄与する研修会を行い、会員の教養を高め、大府がより良い町になるよう自己研鑽に努める。	○記念事業 日程：令和4年11月6日（日） 場所：大府小学校体育館・グラウンド 参加者数：95名（市民や学生、県内青年部メンバー） 内容：チームビルディング研修会・タグラグビー大会の実施。 ○記念式典 日程：令和4年11月19日（土） 場所：アイサンスポーツセンター アリーナ 参加者数：131名（来賓、OB、県内外の青年部メンバー） 満足度 100%	小規模事業者等における若手経営者（後継者等）及び女性経営者等	指標	記念イベント参加者数  (達成度 47.5 %)	指標	満足度  (達成度 125.0 %)	【記念事業】 チーム力を向上させるにはどうしたら良いかを学び、タグラグビーの実践演習もあり、深い学びを得ることができた。 また、講師の地元ラグビーチーム「豊田自動織機シャトルズ愛知」のPRや高校ラグビー部とのタグラグビーのデモ試合が開催でき、研修のみならず、地域活性化と若者育成の一助となった。 【記念式典】 創立15周年式典や他青年部の同様事業に参加したことのあるメンバーが減少し、新規会員を中心に設営を行った。そんな状況においても愛知県内外から多くの来賓や参加者を迎え、成功裏に終えられたのは、メンバーの成長につながった。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	令和5年度は地域の子供達を対象にした地域活性化事業を実施する予定			
												B							A	現行どおり	現行どおり
												目標達成度							必要性	実施方法①	実施方法②
												B							A	変更する	現行どおり
商店街振興事業 (げんき商店街推進事業)	小規模商店の現状はいうまでもなく厳しい状況にあり、中心市街地の衰退は著しい。このような厳しい状況を少しでも打破するためには、魅力ある商店づくり(個店対策支援)が必要であり、これにより街にも活気が生まれ、ひいては、地域活性化が図られる。	・「一店逸品運動」 参加事業所 34事業所 ・「おおふふれあいゼミナール」 参加事業所数 24事業所 ・「大府あきんど塾」 参加事業所 38事業所	小規模事業者	指標	参加事業所数  (達成度 120.0 %)	指標	(達成度 %)	一店逸品運動により、各個店の商品力向上と横の連携が強化され、地域商店街の活性化につながった。 ふれあいゼミナール及びあきんど塾(セミナー)については実践的な取組で実施したため、ふれゼミは販促、あきんど塾は個店の資質向上に効果があった。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	新型コロナウイルス感染症拡大の状況に応じて、引き続き個店の魅力強化の事業を継続する。			
												A							A	現行どおり	
												目標達成度							必要性	実施方法①	実施方法②
												A							A	現行どおり	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。